

The

EIKO ALUMNI

Vol. 97

April 2022

[特集1]

フォス初代校長特別展 開催！

contents

ご挨拶	2
[特集1]フォス初代校長特別展 開催!	4
OBだより	6
学園だより	10
同窓会information	16





同窓会会長よりご挨拶

ALUMNIを全面リニューアル

会員の皆さま、コロナ禍が続いておりますが、ご無事に、お元気にお過ごしでしょうか。

まずは、このALUMNI97号をご覧になっている会員等の皆さまに、“ALUMNI全面リニューアル”をお伝えします。A4オールカラーで、写真などを多く取り入れ、見て楽しめるALUMNI“進化版”です。封筒を開けて「あれ、ALUMNIが入っていないぞ。」など、驚かれた方も多いのではないのでしょうか。2021年度の定期総会で、同窓会執行部に新たな風が吹き込まれ、ここ数年のホームページの充実を踏まえ、広報媒体としてのALUMNIの効果や役割を検討し、“新たな形”としてお送りします。

先を見通せない状況で

新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株による第6波が急拡大し、なかなか治まらない状況で、さらなる変異株も確認されており、まだまだ先を見通せません。このような状況下で、今度はロシアのウクライナ侵攻です。ウイルスは、ある意味避け難い部分もあるとは思いますが、国と国との争い、ましては武力を行使することは、人が行うことなので、避けることが出来ますし、避けなければなりません。今年の卒業式で望月校長先生は、70期卒業生や式に参列された方に向け、平和の尊さ、平和の実践についてお話をされました。私たち一人ひとりの意思や行動が大切です。このALUMNI97号を皆さまにお届けする頃には、コロナもウクライナ侵攻も、良い方向に進んでいますように。

2021年度をふりかえり

2021年度同窓会事業は、コロナ禍に対応し、参集してのイベント、会合は極力行わず、各委員会も、Zoomでの開催を基本としました。OBフォーラムもZoomで2回開催しました。また、2021年度定期総会もリアルで開催できず、Zoom&書面決議という形にさせていただきました。2021年度は、役員改選の総会でしたが、おかげさまで、会長の再任を含め、新役員、執行体制をご議決いただきました。OBの部屋も2020年度同様行えず、同時開催を予定していたグスタフ・フォス初代校長先生ご帰天後30年の特別企画も再度先送りしました。

2022年度にむけて

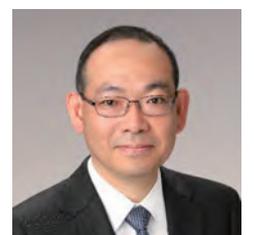
2022年5月の栄光祭は、昨年同様コロナ禍のため、OBの入場は難しい状況であり、OBの部屋、追悼ミサは、行わない予定です。

2022年度定期総会は、栄光祭の1週間後、5月21日にZoom&リアルで行います。アロイジオ会館で総会にリアル参加される役員の方は、必ず事前に同窓会事務局までご連絡ください。今回も、議案書を各役員へ郵送、質問等は事前にメール等で受け、当日は基本的に傍聴参加、書面での議決権行使を予定しています。委員の皆さまには、ご面倒をおかけいたしますが、どうぞご協力ください。また、延期していた、フォス先生ご帰天後30年特別企画を、総会開催同日に学園聖堂ホールで行う予定です。

2022年度も、WEBを利用しての事業や委員会などが多くなりますが、我々には、栄光で培った共通の普遍的な価値観があるらしく、初めてZoomなどで“繋がる”場合でも“はじめまして”感が薄く、またZoomによる気軽な参加のメリットも大きく、afterコロナでは、リアル参集の良さと併せ、ハイブリッドで事業を行ってまいります。

人を繋ぐ、人が繋がる同窓会に

今年は、70期生を新会員として迎えます。本ALUMNIの“ちょっと、ひとりごと”でも触れていますが、70期の学園生活は、その多くがコロナに翻弄された日々でした。同窓会への参加で、少しでも何かを補ってもらえるよう、69期までの全会員で、あたたかく迎えたいと思います。先を見通し難い時代だからこそ、全ての世代、全ての会員が、繋がりたいと思えば、どこかで、何らかの形でいつでも繋がることのできる、“人を繋ぐ、人が繋がる同窓会”に近づけていければと思っております。母校、後援会、姉妹校同窓会とも協調しながら、執行部一同、頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



栄光学園同窓会会長 山田 宏幸 (30期)

校長よりご挨拶

「未来EiKO募金」へのご協力に感謝

同窓会のみなさまには、コロナ禍が続くなかでもOBゼミや進路ガイダンスをはじめ、様々な場面で学園の教育活動にご支援を賜っており、心から感謝しています。

特に昨年の4月に始めた「未来EiKO募金」に対して、大変多くの卒業生のみなさまから多大なるご協力をいただいています。本当にありがとうございます。ご寄付に込められた卒業生のみなさまの思いをしっかりと受けとめ、今後とも学園発展のために努力していく所存でございます。特に学園では去る12月～2月に野球場の改修工事を計画していたため、野球部のOB会のみなさまから多額のご寄付をいただきました。本当にありがとうございました。

コロナ禍でもひとつひとつの企画を実現開催

さて、この一年も学園の教育活動は新型コロナウイルスの影響を受け、様々な変更を余儀なくされました。ですが、コロナももう2年目。一昨年はほとんどの行事を中止としたのに対して、今年はなんとか形を変えてでもひとつひとつの企画を実現開催できないかを模索し、試行錯誤を重ねてまいりました。

5月の栄光祭は、例年のように一般の来場者をお迎えすることはできず生徒のご家族のみに限定させていただきましたが、一般の方でも同時中継企画も含めオンラインでの栄光祭をご覧いただくことができました。そこでは研究展のみならず、娯楽企画や公演催物・屋外ステージに加え、高校3年生が保護者の教育相談にのるというユニークな企画などもあり、とても充実した内容の栄光祭になりました。

ただ卒業生のみなさまにとりまして、栄光祭は母校をお訪ねいただけるホームカミングデーでもあります。2年続けてご来場いただけなかったこと、大変に心苦しく思っております。誠に申し訳ございませんでした。今年は例年のように5月の開催を予定していますが、ご来場者の範囲については、今後の感染状況により決定させていただき、ホームページなどに掲載いたします。なにとぞご了解いただきたくお願いいたします。

体育祭は例年9月末に行っていますが、昨年度は8月2日に発令された緊急事態宣言が9月末日まで続きオンライン授業となったこともあり、大幅に延期して11月20日に実施しました。しかも午前中に高校、午後に中学のみで半日

ずつ開催し、ご来場も保護者の方々に限定いたしました。それでも開催できたことは本当によかったですし、実行委員の生徒たちにとってはとてもよい教育的効果があったと思います。

修学旅行などの学年行事も、できれば完全な形で行いたかったのですが、実施予定の時期が今年2月の第6波のちょうどピーク時にあたってしまい、日帰り企画に変更するなどの対応をいたしました。

コロナ禍という制約がありながらも、生徒たちの課外活動は活発でした。物理研究部の生徒を中心とするチームは科学の甲子園の全国大会に県代表として出場しますし、国際的なロボットコンテストであるファースト・レゴ・リーグで本校のチームが全国優勝し日本代表になりました。囲碁将棋部も関東地区の代表として3月には囲碁の全国大会に出場いたします。

今後ともご理解ご協力を

学園のコロナ対策のため、同窓会のみなさまにいろいろとご迷惑をおかけいたしております。この場をかりてお詫び申しあげるとともに、今後ともご理解ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



栄光学園中学高等学校 校長 望月 伸一郎

[特集]

フォス初代校長特別展 開催！

同窓会事業部・総務部

成績よりも誠実、進学よりも人格。

まわりの人に高く評価されても、
そして出世しても、
人間が出来ていないと負けだ。

成績がビリであっても、
また社会における地位が低くても、
人間さえできていれば勝ちだ。

Geertus Vos, S.J.

学園資料室の資料を整理すると

2018年12月、同窓会は学園からの依頼を受け、学園資料室の整理をお手伝いしました。何回か学園資料室のアーカイブを見る中で、2020年が栄光学園の創立者グスタフ・フォス校長先生のご帰天30年にあたること、これに関し学校には特に企画などは無いことを知りました。

学園資料室には、フォス先生の写真、雑誌や新聞記事、NHKインタビューや各種講演のテープなど、たくさんのアーカイブがあります。34歳で栄光学園を創設、77歳まで栄光生の教育にご尽力され、戦後日本の教育にも多大な貢献をされたフォス先生の足跡を、これらのアーカイブを総動員し、特別展という形で公開する。これこそ、教えを受けた我々同窓生が、フォス校長先生ご帰天30年にあたり企画すべきことであろう、ということになりました。

脈々と流れる栄光精神の源流を

早速、企画に取り掛かりました。時期はいつ？場所はどこ？時期はやはり、卒業生や在校生、学園関係者が多く集まる「栄光祭」で、会場は「OBの部屋」。「OBの部屋」の壁全面にフォス先生の懐かしい写真やお言葉をパネルで展示。机には当時の教科書やフォス先生のノートなどを陳列。部屋のコーナーには、フォス先生の講演の音声を聞けるブースを設置。バックグラウンドには講演のテープを流しておく。

フォスさんのたくさんの懐かしい写真、たくさんの懐かしいお言葉、たくさんの懐かしい声、そして当時を偲ぶ品々。これらに囲まれた「OBの部屋」で、田浦時代の卒業生、大船で育った卒業生、幅広い世代の多くの同窓生が集まり、コーヒーでも飲みながら、同期で話すのもよし、年次を超えて交流するのもよし…。フォスさんとその時代を偲び、今も脈々と流れる“栄光精神”を改めて呼び起こしながら、集い、交流する。このような同窓会らしい親睦の場を提供出来たら、ぜひ提供したいという企画です。

感染症対策次第ですが、聖堂ホールで

コロナ禍で2年の延期がありましたし、今年の栄光祭も、感染症対策のため、これまでのように自由に参集する形での開催は望めそうにありません。残念ながらコーヒーを飲みながら、思い出を語るという訳にはいきませんが、学園のご協力で、聖堂ホールをお借りできそうです。

多くの同窓会員の皆さまのご来場をお待ちしております。

フォス初代校長特別展

在りし日のフォス校長を偲ぶ写真や資料。

フォス校長の肉声も！

【展示内容(予定)】

パネル15枚程

自筆のノート

校長申請書

学則

映画鑑賞に関する規定

The English Hourなどの教科書

オナスカード

私の教育論音声データ

ほか

【日時(予定)】

5/21(土)10:00-16:00

※最新情報は同窓会HPでご確認ください。

※同窓会定期総会に合わせての開催。

【会場】

聖堂ホール内

ご来場
お待ちしております！



OBだより

21.10.17

関西支部 第二回総会

同窓会HP > 活動報告・会報記事 > 支部等活動



本年3月の設立総会から半年強の10月17日、栄光学園同窓会関西支部は第2回の総会をZoom上で行いました。同窓会本部から地域支部としての承認を得て初めての、いわば第一回目のレギュラー・イベントとなります。以下はそのご報告です。

前回同様まず瞑目を行ってから、武優樹(66期)学生幹事の総合司会で開会となりました。幹事団からは金田真己(28期)事務局長より開会の辞、および金澤和夫(23期)支部長より挨拶がありました。その後、山田宏幸(30期)栄光学園同窓会会長より挨拶も兼ねた学園の近況報告を伺った後、引き続き六甲伯友会会長藤本久俊様・六甲伯友会事業委員会副委員長佐藤泰樹様(六甲47期入学、栄光38期卒業)、広島学院翠友会関西支部副支部長 三宅秀芳様、上智福岡泰星会関西支部長原田耕作様よりご挨拶を頂きました。六甲・広島に加え上智福岡(旧泰星)と、今回は日本国内の全イエズス会中・高校からご来賓を迎えたこととなります。

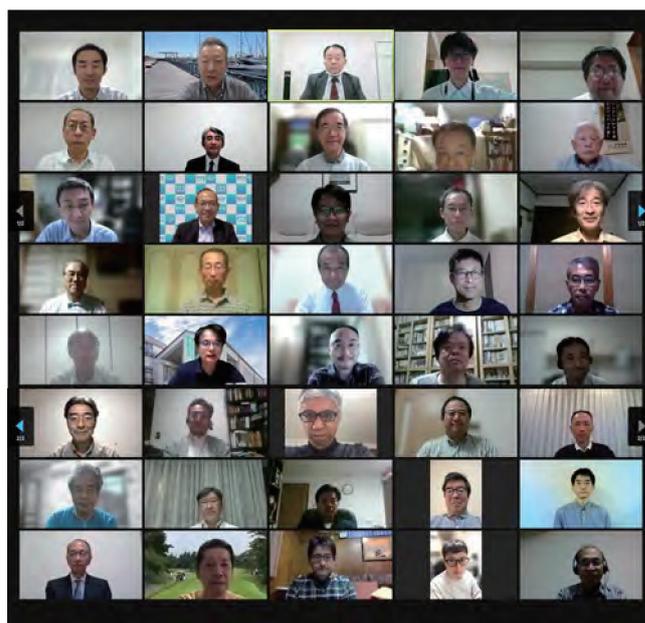
2020年度決算、役員変更(山本博之(31期)幹事、前田真孝(29期)幹事の転出に伴い、新たに矢野雅裕氏(46期)を幹事に、栗田圭司幹事(34期)を会計監事に選任)、会則改定、2021年度予算案の4議案とも承認された所で、総会は終了。小休止を挟み、日本銀行大阪支店長の高口博英氏(31期)に、「最近の内外経済情勢と関西経済」をテーマとする講演をしていただきました。

不確定要素を含みつつも回復を始めている世界・日本経済を背景にした関西経済の現状と可能性につき、豊富な情報と鋭い洞察に満ちたお話を一同伺いました。個人的には、2025年開催予定の大阪・関西万博が、地球規模で見た際の中長期的問題群の解決に向けた動きの起点になるのではないか、との指摘が特に刺激的でした。質疑応答では、オリンピック・パラリンピックからの学びについて、また中国恒大のリスクの不動産バブル化への懸念について、質問が出ました。

講演終了後、今回初参加の方に、簡単な自己紹介を兼ねたご自身の関西との縁について短いスピーチしていただき、今後の支部活動についての意見交換を行いました。その場で、社会人として関西に来ている卒業生への同窓会支部の存在の周知、また栄光卒業生同志および姉妹校卒業生とのネットワーク作りをする上での同窓会支部の役割が、今後の課題とされました。スクリーンショットを用いた参加者の集合写真撮影を済ませ、閉会となりました。

今回の出席者は6期の久保さんから66期の武さんまで、計34名でした。金澤支部長の挨拶にもあった通り、設立一年にも満たないまだ赤ん坊のような支部ですが、それでもようやくその歩みを始めたとはいえましょう。上でも触れましたように、在関西栄光卒業生、さらには姉妹校卒業生とのつながりの結節点となることは、まさに本支部の筆頭の存在目的と信じます。その観点からも、特にコロナ禍が終わった暁に、ますます多くの方が本支部に加わり、またその活動へ積極的に参加して下さることを、心から願ってやみません。

西川健誠(34期)





2022年1月9日、ホテルプラムさん(横浜駅徒歩10分)にて、68期同窓会を開催しました。オーナーでいらした栄光19期の平山さんのご厚意で、開催1ヶ月前というギリギリの日程でしたが、同窓会開催を快諾して頂きました。ここに感謝の意を表します。

多くの同期と集まるのは実に2年ぶりで、会は立食で行い、自由に移動しながら話に華を咲かせられるようにしました。私たちの学年はちょうど大学生活1年目がコロナ発生と被った第一世代であり、高校の卒業式は例年のような落ち着いた環境では行えず、連絡先の収集がままならない状況で各々が自分たちの道を歩み始めた、そのような学年でした。そのため、まずは有志の幹部を募集し、学年全員の連絡先を収集するところからことを始めました。

企画自体が急な計画で、どれほどの同期が参加してくれるか心配していましたが、なんと参加の可否を問うたフォームにはほぼ全員が答えてくれ、また当日も135/181人が参加するという、驚異の参加率となりました。地方の大学に通っている生徒も成人式への参加を機に実家に戻っており、今回集まることができました。各々が大学での楽しみを分かち合ったり、個人で行なっているプロジェクトの話をしたりと、大変有意義な時間になりました。企画として、フリートーク以外には、中高時代を写真で振り返る動画、海外の大学に進学した同期からのコメント動画、栄光の恩師からの祝辞動画を上映しました。懐かしい顔ぶれや個性に飛んだ先生方からのコメントに会場は大いに盛り上がり、非常に喜ばしい時間となりました。また、会の最後に

実施したお年玉ビンゴ大会では、VRゴーグル、インスタントカメラを始めとした一般的な豪華景品のみならず、先生方からのサイン入りプラバット用プラボール、栄光グッズも多数用意し思い出に浸りながら楽しめるようにしました。

時期的にちょうどオミクロン株の感染者が増加し始めた頃で、同窓会の開催が危ぶまれましたが、アルコール飲料提供のキャンセル、黙食タイム導入による飛沫対策等を行い、できる限りのコロナ対応を考えました。結果、コロナ感染者ゼロで無事に完遂することができました。

100人以上が集まる会の幹事を行ったのは初めてでしたが、とても良い経験になりました。約1ヶ月間開催準備でお世話になったホテルプラムさんや一緒に企画をしてくれた同期(本吉亮介、大沼新、太田涼雅、日野雄介、大須賀博紀、宮川大希、酒井亮輔)、またコメント動画を送っていただいたり前日に栄光でサインをしてくださったりした先生方、ありがとうございました。

大学に入り様々な人と関わっていく中で、栄光の卒業生として、どのように社会貢献していくか、より考えるようになりました。特に私は栄光を中学で卒業し、高校は父のジャカルタ赴任に伴い海外のインター校に転校し、人一倍「栄光生」である意義について考えてこられたのではないかと思います。これからより一層、社会人としての自覚を持ちながら、自身の強みを活かして社会貢献していきます。これからの社会を創っていくのは私たちの世代です。精進して参りますので、栄光OBの方々や先生方には厳しく、そして優しく、引き続きご指導していただければと思います。

横田幸亮(68期)





新旧の藤沢明治地区を訪れる 21.10.27

コロナ自粛も解けた10月27日(水)に恒例の「歴史文学散歩」が実施されました。テーマは「新旧の藤沢明治地区を訪れる」でJR辻堂駅北口に16人の懐かしい顔が揃いました。辻堂駅は都市再生事業で「湘南C-X」による新しい街に変貌しています。変貌を代表する商業施設が「湘南テラスモール」であり、象徴する施設が産業振興財団「ロボテラス」です。ロボテラスは2014年に「生活支援ロボット」の普及・啓発を目的に整備されました。「介護リハビリロボットが三種類(歩行支援・リハビリサポート・遊具)展示使用する事が出来ました。私達は略全員がターゲットですから新設丁寧に説明実践させて貰いました。

次いで「藤沢浮世絵館」に向かいました。藤沢の浮世絵と云えば広重の「東海道五拾三次之内 藤澤」や北斎の「富岳三十六景 相州江の島」が著名ですが偶々特別展「東海道五十三次シリーズと道中双六」が開催されていました。栄光卒業生14期生の義兄の細井氏が説明して下さいました。素材自体が面白い上に細井さんの説明上手に落語の様な滑稽や諧謔を楽しみました。ランチは藤沢市の「明治市民センター」で各自用意した弁当を食べました。午後は藤沢市羽鳥にある「小笠原東陽/幕末明治の儒学者」の墓、次いで「耕余塾/東陽の私塾」更にスポンサーであった旧三髯八郎右衛門家の住宅に回りました。羽鳥村の名主の豪邸は周囲の宅地分譲が済んで本丸も取り壊し直前でした。吉田茂が「経世済民」を学び、自由民権運動の嚆矢となった施設も跡形も無くなる開発の進行でした。更に四谷の八坂神社と「大山道一の鳥居」「二つ家稲荷神社」を巡ってJR辻堂駅に戻ったのは午後3時を過ぎていました。5時間の歴史文学散歩は快い疲れと万歩計の1.1万歩を刻んでいました。

竹内正敏(13期)



YRPドコモ見学と横須賀の古刹巡り 21.11.25

京急YRP野比駅に集合した3期～21期栄光卒業生14名とご家族2名にて7kmの歴史文学散歩を楽しみました。11月には珍しい穏やかな晴天のもと三春さんと大島先生にいつもながらの幹事をお願いしました。今回は73期生山中さんのご家族がこの地域に精通されてるとのことで道案内頂きました。

YRP野比駅からバスで5分、横須賀リサーチパーク(YRP)は電波・情報通信技術を中心とした研究開発拠点として横須賀市の南部郊外に1997年10月に開設されました。緑の山々に囲まれた自然豊かな環境にあり、その中から今回ドコモR&Dセンターを訪問しました。館内シアターで今後10年～20年でドコモの新技術が如何に産業や生活を大きく変化させるか目の当たりにし改めて感銘うけました。次にR&D技術により実現する未来のライフスタイルをゲームや競技用車椅子で体験しました。

ドコモセンターのスタッフ嬢からは近未来の技術について素人にも理解しやすい説明をして貰ったり建物内の段差を通過する際は手を差し延べて貰ったりし細やかな対応に感謝しました。ドコモセンターを後にし北に15分程歩き光の丘水辺公園にて昼食をとりました。この公園は三浦半島の植物や小動物を自然に復元し保存することを目指して設立されYRPに勤める方々の憩いの場所となっており私達も錦繡のひと時を楽しみました。

午後は神社仏閣並びに史跡巡りで始めに岩戸山満願寺臨済宗建長寺派を訪問しました。三浦義明の子、佐原十郎義連により建立され、かつては七堂伽藍の整った大寺院だったと発掘調査で判明しています。国指定重文の観音菩薩像と地藏菩薩像及び市指定重文の不動明王像と毘沙門天像の4像はいずれも寄木造り玉眼入りで制作から830年ほど経っているが運慶の作品を反映させた貴重な仏像でノミ痕も見事にのこっており暫し瞑目しました。2022年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の中で頼朝を強力に支援した豪族三浦氏を取り上げられるのでTV放映される前に人気先取りし今回関係先を巡ることが出来ました。義明山満昌寺臨済宗建長寺派は頼朝が三浦大介義明の追善のために1194年に建立した寺です。ご住職は満願寺ご住職の兄上にあたり滑舌な方でTV放映されればこの地域が人気となる筈と今から期待されていました。

今回他には腹切の松並びに清熊寺や三浦氏五輪塔および近殿神社を訪問しました。午前は近未来技術の世界を探訪し午後は鎌倉時代の歴史を学び意義深い散歩となりました。

次回2022年3月29日の池上本門寺から文士村の散歩での再会を約して散会しました。

近藤二郎(12期)



21.11.20

山岳部OB会

同窓会HP > 活動報告・会報記事 > 支部等活動



2021年11月20日の土曜日に、横浜崎陽軒本店にて、山岳部のOB会が開催されました。毎年天狗さんの誕生日である10月に開催していたOB会ですが、去年はコロナ禍のため中止になりました。今年は何とか開こうということで、第5波が収まることを期待し、1か月遅らせて11月開催といたしました。崎陽軒も1卓の人数を減らし、アクリル板を設置するなど対策をとってくださり、参加者も移動する場合はマスクを着用するなど、ウィズコロナ時代の懇親会となりました。

今回は4期から24期までの34名が参加し、2年ぶりの親睦を深めることができました。山岳部は24期までで部自体がなくなっていますので、最年少のOBも還暦を過ぎている、若い人のいない会となっています。毎年平均年齢が

着実に高くなっていくOB会ではありますが、体力に自信のある会員が多く、これからも永く続けていくことができばと思っています。

早川光敬(18期)



田浦時代中学校舎の前に…

栄光の海はイシガニの宝庫でした。田浦時代、中学校舎の前の一段低い所に、平屋で長屋の職員宿舎があり、その先は海でした。海に降りるのは禁止でした。海には大きな石がゴロゴロしており、砂地も混在していました。私は海があると何かいるかと覗き性分なので、大潮の干潮時ゴロタ石に降り石の間を覗いて見ました。すると驚いた事に大きなイシガニがうじゃうじゃいました。

イシガニは、内海に多いワタリガニ(左右の第4肢がオール状で泳ぐカニの総称)の一種で、オスの老成個体はツマグロといって黒紫色になり、大きなガザミ位の大きさです。肉質はガザミより上で、みそやメスの内子は絶品です。

しかし、大量に取れないので魚屋で見るとはまずありません。素手でとるのはハサミで挟まれる危険があり、挟まれたら猛烈に痛いのですが、イシガニは脅かすとハサミを振

り上げます。ハサミは節がくびれているのでハリガネの先をU字形に曲げて節に引っ掛けると簡単にとれます。ある休日バケツ一杯のイシガニを取って、家に帰ってみんなで美味しくたべました。

お袋は又とって来なと言いましたが、次は堀先生に見つかり、ひどく叱られてもうとれません。ちなみにおおきなアサリも沢山取れましたが、アサリは少し重油臭く食べられませんでした。戦前は軍の施設だったので、アサリもイシガニも沢山いたのだと思います。また大学卒業以来50年ぶりにあった友人の最初の一声は、「おい水野相変わらず素っ頓狂なことをやっているのか」でした。

水野信義(11期)



21.7.22

卒業生インタビュー 廣川信隆氏(12期)



現在東京大学で医学部特任教授を務めていらっしゃる廣川信隆氏(12期)が「卒業生インタビュー」で来校されました。廣川氏は分子細胞生物学の分野において数々の業績を上げ、現在も第一線で研究されています。当日、インタビューとは別に本校生徒が質問する機会をいただきました。その際の様子を抜粋してお伝えします。

研究者はもっとも幸せな人種

高校卒業後、医者になりたくて東京大学の医学部に進学しました。当時の私は医者とは臨床医、病気の患者さんを治療する町医者のようなものと思っていました。それで医学部では入学後すぐに臨床医学を教えてくれるものだと思っていたんですけど、最初の二年間は基礎医学を習うんですね。基礎医学っていうのは人の体・細胞・組織・臓器といったことを勉強する学問です。しかし、勉強していくうちに、実は人の体はまだ分からないことだらけだということが分かりました。驚きでした。当時、完璧に仕組みが分かっていたのは抗生物質くらいで、正常な体の仕組み、病気の診断、治療については分からないことだらけで、その時そういう未知のことを解明していく研究者というキャリアがあることに初めて気づいたんですね。それまでの私にとっては、高校で習う数学、物理、生物、それから文系の歴史や地理なんかの勉強は医者になるための関門を突破するためのものでしかありませんでした。基礎医学を習ったときにはじめて「学問」に出会いました。数学には数学自体の面白さ、歴史には歴史のその学問自体の面白さというものがあるということに気づいたんです。

私にとって初めて、知らないものを知りたいという欲求、これは人にとって根源的な欲求ですよ、それに初めて目覚めたんです。人の体の仕組みについてまだ分からないことを知りたい、それは自分自身を知りたいということにも繋がります。そういう欲求が人には必ずあるんです。誰も知らないことを発見して、それが教科書に載った時の喜びは経験しないと分かりません、何ものにも代えがたい。お金では買えないものです。私は研究者っていうのは芸術家と並んで、最も幸せな人種だと思います。

自分の知りたいと思うことを若いジェネレーションの仲間と一緒にいろんな実験をして結果を解いて、そして発見し

ていく。それが積み重なって、歴史に残っていくんです。けっして贅沢はできないけれど、どうにか生きていくことはできます(笑)。それまで無かったものを創り出す。一つの実験で何十回と失敗をしますが、それでも止めないのは、この発見の喜びが原動力です。

栄光で培われたもの

私が栄光に入ったのは昭和33年。振り返ると栄光の生活で他の学校と違ったのは、グスタフ・フォス校長の週に数回の朝礼演説。「あなたたちはベストを尽くして生きろ」って言うんです。それから中間体操。冬の寒い中でも外に出て上を脱いでやる。ドイツ式のスパルタ教育の名残だったのかもしれませんが、これは心身ともに良かったと思っています。

授業は非常に自由闊達でした。生徒が自由に発表できる環境でした。当時は外国人の神父さんがたくさんいらっしゃって、文化的に見ても自由な雰囲気の中で学びました。非常に国際色にあふれる学校でした。凄く良かった。研究者になってから5年間ほど米国にいたことがあって、初めはカリフォルニア大学、次にセントルイスのワシントン大学の医学部で研究をしていました。その後、母校の東京大学に呼ばれて帰ってきましたが、今や全ての職種がグローバルなので、栄光で培われたインターナショナルスピリットっていうものは将来必ず役に立ちます。インターナショナルが加速していく時代で、栄光学園が持っている強みが生きてくると思います。また、社会倫理っていう科目があって、倫理、それからある種の哲学ですね。人はどうやって生きていくのか。これは今から考えると凄く貴重な経験でした。というのは当時公立の中高では価値観の教育っていうのはできなかった。ずっと自分の中でどうやって社会の中で生きるべきか、ということを考えています。

[生徒の感想より]

科学に対する愛

廣川さんのお話からは科学に対する愛が伝わってきて、研究の魅力を肌に熱気を感じながら聞く、本当にスゴイ機会だった。僕も将来は科学研究に携わりたいと考えているため、その道のずっと先でここまでお仕事を楽しみ、充実した生活を送っていらっしゃる先輩とお話することができたことは、これからの自分の人生の励みになると思う。また、廣川さんも栄光生時代はハンドテニスにはまっていたそうである。毎日、校舎2階のベランダから見えるハンドテニスをしている中学生の中からも将来日本の先端に行く人がたくさん生まれるのだろうと思うと、身に染みて、僕ら中高生が持っている可能性の大きさを感じた。日々見識を深めるべく努めようと思った。

T.K.君(高2)

深く影響を与えた栄光の教育

私達の大先輩にあたる廣川先生のお話を直接に伺うという貴重な機会を得ることができました。科学界の権威ある雑誌の実物を見せて頂きました。その表紙を飾る電子顕微鏡の写真は先生が研究で撮られたというもので、大変色鮮やかできれいでした。栄光学園の社会倫理の教育を重じる伝統がご自身に深い影響を与えてきたという先生の言葉が印象深かったです。卒業して何年も経った後、私には母校がどう見えて、何を振り返るのだろうかと考えました。

R.K.君(高3)

廣川 信隆 氏 (12期) Profile

医学博士/日本の分子細胞生物学者

東京大学医学系研究科特任教授(名誉教授)、
日本学士院会員、文化功労者。

キネシンスーパーファミリーモーター分子群(KIFs)を発見し、その構造、機能を脳神経系を中心に細胞生物学・分子生物学・分子遺伝学・生物物理学を駆使して研究している。

朝日賞、日本学士院賞等を受賞。



◀ 学園HPにて動画公開中



中3 栄光ヒュッテ日帰り遠足 (73期)



中3 M.O.君

僕は「栄光ヒュッテに興味があって一度は行ってみたいな」と思ってこの企画に応募しました。希望者が想定の2倍もいて、12月組と11月組とに分かれ、みんな一緒に行くことができなくて残念でした。けれどヒュッテに行くことができ良かったです。特に印象に残っているのは、ヒュッテの隣にある川で遊んだことです。数人の友達と弁当を食べ、川中の岩を飛び越えて川を渡りました。一番大きい岩の上に立って、川の様子を撮影もしました。川はとてもきれいで、感動しました。栄光ヒュッテに行くまでに歩いた山道も印象に残っています。栄光坂より急な道を登り、隣は崖のとても狭い道を歩いた後、緩やかな坂を下って橋を渡り、山道を歩いていきました。長時間歩いて疲れた後の川とヒュッテは、達成感もあり、本当に絶景でした。

今回の栄光ヒュッテの企画に参加したかった理由は、単にヒュッテに行きたかっただけではありません。コロナの影響で、本来なら行はずだった中2の一大イベントである栄光ヒュッテの宿泊行事に行けませんでした。たくさんの友達と遠足に行って遊ぶことが全くなく、学校以外の場所でこの日のように楽しむのも久しぶりでした。こうしたこともあって、栄光ヒュッテの企画に参加しました。今回は泊まれなかったのですが、いつかまた来て泊まってみたいと思います。

中3 H.M.君

私は学園通信に載っていた先輩方の楽しそうな笑顔を見て山のキャンプや栄光ヒュッテに興味を持っていました。私達73期はコロナの影響で、本来行く筈だった中2の山のキャンプに行くことができませんでした。しかし先生方が日帰りの山のキャンプを企画してくださったので、私は参加することができました。

初めは栄光ヒュッテまでずっと舗装された道を歩くのだと思い、きっと楽だろうと高を括っていました。なので、私は友達としりとりをしながら登っていました。実は舗装されていない急な山道を延々と登り続けるので、次の言葉を考える気力も削がれていて、栄光ヒュッテのことなどどこかに吹き飛んでいました。

栄光ヒュッテはもう少し狭いのを想像していましたが、意外に広くそして頑丈そうでした。自由時間では、友達と川の岩と岩を飛び乗って上流の方を目指しました。岩に飛び乗ることに失敗し川の中に入ってしまったのですが、川の水は冷たく、とても気持ちよかったです。非日常的な体験をしたり、友達との仲を深める事が出来て、良かったと思いました。



ガマガエルがいるのわかりますか？ photo A.W. (73期) ▲



中1 H.M.君

今年の中1秋の遠足は、4クラスから4人ずつ、計16人で様々なゲームや高い場所に登る等のチャレンジを行い、親睦を深めるという内容だった。最初に内容を聞いたときは、少し不安だった。それは同じチームの人と仲良くできるかというものもあったが、何よりもチャレンジの内容。高い所は元々嫌いだったし、命綱を生徒が持つ高さ7m。想像よりはるかに高い。だけれどどこかで自分は安心してた。下にいるチームメイトのおかげだったと思う。そのときには、もう信頼できる仲間となっていた。結局最後まで到達することはできなかったが、人は意外とすぐに打ち解け、信頼し合えるということを学んだ。もう、人間関係には困らない。

中1 T.Y.君

今回の遠足を通じ、今までは交流できなかったような人とも知り合い、仲良くなることができた。オリエンテーションも一人でこなすことは不可能に近いものが多かったため、それをクリアするという共通の目標があったことで、より一体感や協調性といったものが生まれたと思う。今回、前回と共に規模を縮小する形での実施だったが、そこで得られた絆や力は、本来の二日間に劣らないものだと思う。規模は縮小されたが、実施されたことに意味がある。新たな関係を築けたり、貴重な体験ができたこの遠足はとても有意義なものだった。

もう上るしかない！▼



▲緊張の瞬間！



そこまでは届く…はず！▲

2年ぶりの体育祭

しかいけいてい
スローガン「四海兄弟」

(真心と礼儀をもって接すれば兄弟のように仲良くなる)



例年以上の素晴らしさ！

今年は応援団が無いなど、あらゆる点で例年とは違う体育祭になりましたが、クラスメイトの応援をしたり、途中の得点を見て話を弾ませたり、時には審判に対して抗議したりと、生徒のみんなが楽しんで参加している姿には例年と同じ、もしくはそれ以上の素晴らしさがあったと思います。

そんな素晴らしいものとなった今回の体育祭に関わられたことを嬉しく思います。

(実行委員のコメントより)



▲体育祭の実行委員



▲ボールを落とさず鋭くターン！



▲最後はやっぱり…胴上げ！

リスタート！ ▼



図書館の歴史



田浦校舎

開校して半年後の1947年9月、寄贈による約200冊の「図書室」が誕生しました。1951年には現在の図書委員会にあたる「図書係」が発足、閉架式から開架式に。同年高校の新校舎完成に伴い、高校校舎に分室が設けられました。

大船校舎

1963年、大船移転後は旧校舎3階に図書閲覧室の他、教員図書室・自習室を合わせて420.5㎡ありました。栄光祭では喫茶アロマの会場にもなりました。

その後、1997年の創立50周年に聖堂棟(旧複合棟)の2・3階に752㎡の図書館が完成し現在に至ります。

昨年度末の蔵書数は60,455冊(うち視聴覚資料819点、定期刊行物60誌)。

貸出データから見る栄光生傾向

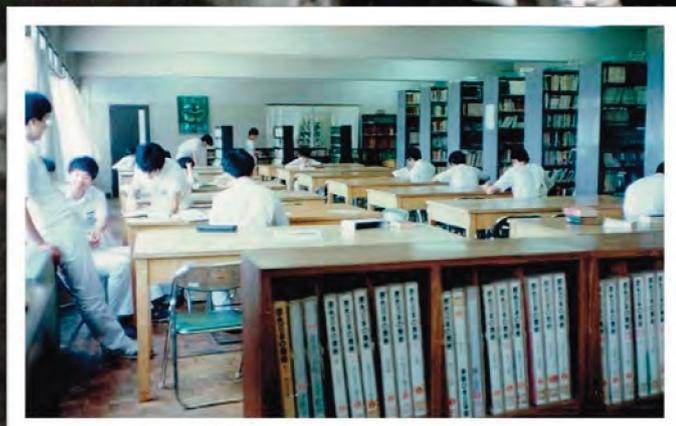
昨年度の貸出数5,672冊のうち、一番多かったのは文学で61%です。次に自然科学の12%、社会科学の6%と続きます。文学の貸出が9割を占める図書館も多いので、それ以外の本も読まれているのはとても良いことだと思います。

創立初期、1948年10月に貸出が多かったジャンルは文学で83%という記録が残っていました。最も多く読まれた本は『ロビンソン漂流記』で、今でも貸出があるので変わっていないと言われれば、変わっていませんね。この数十年、常に人気だなと感じるのは星新一のショートショートです。

(司書の中村知美先生)



▲田浦校舎の図書室
(1960頃)



▲大船旧校舎の図書閲覧室(1985)



▲現在の図書館(聖堂棟)

2022年度 同窓会事業計画(案)



2022年度は、引き続きコロナ禍での同窓会運営となりますが、“人を繋ぐ、人が繋がる同窓会”を促進するため、WEB環境の充実、積極的活用により事業を進めていきます。また、併せて従来のリアルでの事業実施も模索していきます。

ホームページのさらなる充実や、ホームページとの連携強化とすみ分けをした会報The Eiko Alumniの全面リニューアル、EACONによる名簿情報充実と会員相互の情報共有、利便性向上を促進していきます。OBフォーラムを進化、WEB環境を利用した新たな形を定着させ、リアルでの参集が可能な環境となった際には、OBフォーラムを多様なスタイルで展開していきます。イエズス会校4校同窓会の共同イベントについても、同様の考え方で進めていきます。

グスタフ・フォス初代校長先生ご帰天後30年特別展示企画は、本年度リアルで実施する予定です。学園のアーカイブ情報の整理に引き続き協力するとともに、フォス校長特別企画等の常設展示も学園と協議し、アーカイブ情報のホームページ掲載などもさらに進めていきます。

コロナ禍における同期会・支部の活性化の模索を促し、必要な支援を行っていきます。各委員会、支部会、イベントなどをきっかけとし、引き続き若手委員、幹事の発掘に努め、コロナ禍において全ての会員が安全に、また中堅・若手の委員・幹事・会員が、積極的かつ気軽に、同窓会事業に関われるよう、WEB等、様々工夫していきます。

財政については、将来の見通しと“会費”と“事業”のあり方についての整理・検討をさらに進め、会費納入率向上のための納入方法については、導入した新たな手法を検証し、さらなる改善を検討します。

新たな時代、変革の時代を迎え、『栄光学園同窓会のビジョン』検討特別委員会からの答申をベースに、2022年度事業計画は策定しています。従来の事業に加え、2023年の同窓会70周年企画の検討や、多様に「繋がる」ための、会員が自由に参加できる自主的な活動への支援についても、適否を見極めながら前向きに進めていきます。

学園、後援会、姉妹校同窓会との連携強化、また学園の「未来EiKO募金」についても、趣旨を踏まえ、引き続き広報活動等への協力を適宜実施していきます。

会長 山田宏幸(30期)

総務部

①フォス初代校長先生ご帰天30年特別展

本年度開催に向けて準備する。現行計画では現役生徒および父母を対象とする栄光祭での展示(5/14、15)と同窓会会員向け5/21実施の予定。その他アーカイブの利用・公開についても検討を行う。(事業部共同事業)

②「EACONの会員名簿」の利用促進

引続き利用者の増加に向けて施策を行う。

③事務局との連携

連携を一層深め、円滑な会務遂行に協力する。また事務局の会務遂行に資するインフラ整備についても検討する。

④イエズス会校連絡会(JJHAF)への対応

新型コロナ収束次第ではあるが、本年度は実会合を開催する予定である。

⑤常任委員会との連携

引続き円滑な運営方法を検討する。

⑥各活動の支援

主体的活動を旨としている「同期会」「支部」「活動グループ」については、新型コロナ収束後には活発な活動の再開も想定されることから、その推進を後押しするように要請に応じて各種支援を実施する。

副会長	青木嘉光(10期)
総務部部长	米山操(30期)
総務部副部长	米村俊彦(43期)

財務部

①会費納入率の向上

前年度から引き続き未納である会員について積極的に納付をお願いしていくことに加え、リニューアルされたHPやアラムナイにおいて同窓会活動にとっての会費の重要性を継続的にお伝えしていき、納入率50%超を目指す。

②会費納入方法の検討

より簡単に会費が納入できるようにするため、バーコード決済や同窓会口座への振り込み等についても検討する。

③健全な収支モデルの構築

今後は、with コロナの時代にどのように会員へのサービスを充実させていくかという観点から、各部と連携してより健全な収支モデルを構築し、大きく変化している同窓会を取り巻く環境に適切に対応していく。

副会長	青木嘉光(10期)
財務部部長	近藤亮介(45期)

広報部

①会報アラムナイの発行

The Eiko Alumni は10月上旬に98号、2023年4月上旬に99号を発行予定。

②同窓会ホームページ等の運営

継続的なWEBページの更新。同窓会FBにより定期的なプッシュ配信をする。

同窓会FBの登録者数を増やすため広報を行う。

アーカイブページのコンテンツ充実を図る。

③EACONの活性化

EACON会員リストの更新。

EACONの活用を促すコンテンツの充実を図る。

④公式グッズの検討

同窓会の公式グッズについて検討する。

副会長	高橋英治(28期)
広報部部長	村井基彦(37期)
広報部副部長	川村貞知(37期)

事業部

①同窓会員交流事業

ホームカミング・デイ:

栄光祭が限定的な形での開催となりそうなので、OBの部屋「アラムナイ」は設置しない。

OBフォーラム:

コロナ終息状況を見極めつつ、オンライン開催とリアル開催、併用開催で定期的な開催を目指していく。

今年度は2回の開催を予定している。

歴史文学散歩:

コロナ感染防止の配慮を前提に、6期三春勝正氏、14期大島弘尚氏を中心に、年4回の歴史文学散歩を行う(P20)。

JJHAF共同イベント:

コロナ終息状況を見極めつつ、オンラインによる4校共同イベントの開催を目指す。

同窓会発足70周年記念事業:

栄光同窓会発足70周年の節目である2023年に、リアル開催でのイベントを計画していく。

②在校生支援事業

OBゼミ講師派遣:

高1ゼミ及び公開ゼミへのOB講師の派遣を行う。

本年度は、32期と42期が担当する。

副会長	河原光博(37期)
事業部部長	大須賀喜彦(39期)
事業部副部長	齋藤琢郎(42期)

「2022年度事業計画(案)」については、4月の常任委員会での承認を得たうえで、5月開催の2022年度定時総会で議案提示となります。



常任委員会もZoomなどを活用しています▲



2021年度は31期・41期

2021年度OBゼミは、31期(11回)と41期(12回)が担当しました。

担当講師およびアレンジをしてくださった皆様、ありがとうございました。下記は講義と担当講師の一覧です。

ウェブメディア編集者の仕事と発想

鶴岡弘之(31期) JBpress

教師になりたいと思っていた私が

神経内科医を目指し開業医になるまで

宮崎一秀(31期) 高田医院

エンジニアが起業して上場会社を創る

漆原茂(31期) ウルシステムズ

ヒグマ・エゾシカ・人をつなぐ

早稲田宏一(41期) NPO法人EnVision

コンサルタントという仕事

中島済(31期) 野村総合研究所

アフターコロナの日本エンタメ産業

関口靖彦(41期) (株)KADOKAWA

科学研究が産み出す大きなイノベーション

三沢和彦(31期) 東京農工大学

新型コロナとヒトゲノム

高地雄太(41期) 東京医科歯科大学

弁護士の仕事

多久島逸平(41期) 木村・多久島・山口法律事務所

まちづくりを仕事にする

横山裕(41期) 独立行政法人都市再生機構

職業としてのインベストメントバンカー

川元晋介(31期) みずほ証券

毎日の料理を楽しむにする仕事

橋本健太(41期) クックパッド(株)

世界に貢献する強い日本をつくる

紀谷昌彦(31期) 在シドニー日本国総領事

海外事業会社で働く(海外駐在/異文化で働く)

鈴木尚信(41期) Mitsubishi Motors

日本銀行の仕事について

高口博英(31期) 日本銀行理事

商社ってなんだ

谷岳郎(41期) 三菱商事

いまここに無いものの代わり? 美術のアルケーを考える

谷古宇尚(41期) 北海道大学

金融の未来、暴力の無い世界

森本義晃(31期) NPO法人 Non Violence Project

植物バイオマスが地球を救う

梅田正明(31期) 奈良先端科学技術大学院大学

Business Development:新しいビジネス(事業)を作るには?

平末健太郎(41期) 旭化成(株)

中国駐在、コロナ禍での仕事と暮らし

長井昌也(31期) 本田技研

ちょっとだけ、外側を歩く

今村昌二(41期) ソニーグループ(株)

100年に一度の変革期に

損害保険会社が考える中長期戦略

小林秀憲(41期) 東京海上日動火災保険(株)

2022年度は32期・42期

2022年度OBゼミは32期と42期が担当です。OBゼミも対面・リモート講義を織り交ぜての実施となっていくと思います。お声がかかった講師の方々、よろしくお願いします。

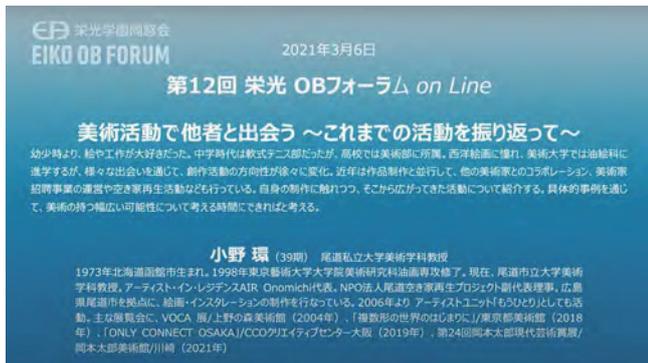




第12回OBフォーラムYouTube公開中 21.3.6

2021年3月6日にZoomによるオンライン開催されました第12回OBフォーラムの様子をYouTubeで公開しています。以下QRコードよりご覧ください。

※同窓会員限定公開です。無断転載・二次使用は厳禁です。

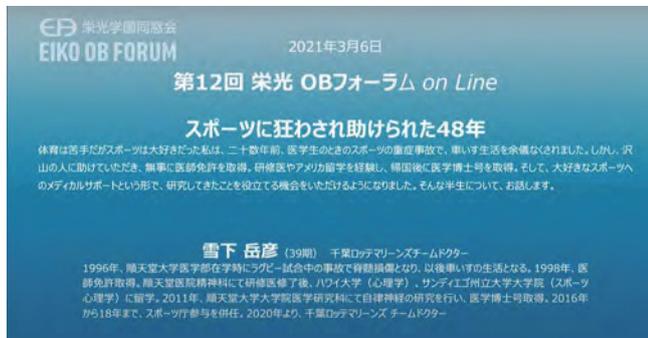


美術活動で他者と出会う～これまでの活動を振り返って～

小野環(39期) 尾道市立大学美術学科教授



◀YouTubeにて動画公開中



スポーツに狂わされ助けられた48年

雪下岳彦(39期) 千葉ロッテマリーンズチームドクター



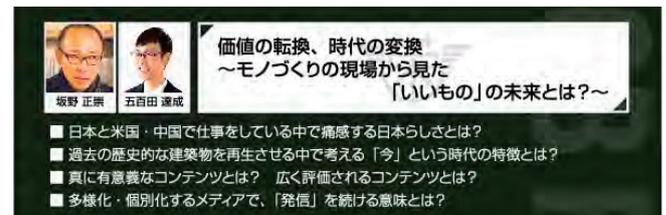
◀YouTubeにて動画公開中

第13回OBフォーラム 21.6.26

第13回OBフォーラムは2021年6月26日に、Zoomによるオンラインにより開催されました。30期が企画を担当し、国際協力機構国際協力専門員の石渡幹夫さんと、原子力規制委員会委員の伴信彦さんが講師を担当されました。講演の概要と様子については、ALUMNI96号で紹介しています。

第14回OBフォーラム 21.12.4

第14回OBフォーラムが2021年12月4日にZoomによるオンラインにて開催されました。企画は40期が担当し、建築家の坂野正崇さんと作家・心理カウンセラーの五百田達成さんが講師を担当され、当日は約70名と大変多くのご参加をいただきました。フォーラムは2部構成で、前半は両講師の講演、後半は講師に参加者からのチャットを交えたフリートークでした。フリートークでは、同期ならではの阿吽の呼吸で、坂野さんの豊富なネタを五百田さんが見事に切り盛り、「現世利益」といったキーワードを交えながら大いに盛り上がりました。遠方や海外からも参加しやすいので、今後もこの方式で続けて欲しいとの意見も数多く寄せられました。



価値の転換、時代の変換

～モノづくりから見た「いいもの」の未来とは?～

坂野正崇(40期) 建築家

五百田達成(40期) 作家・心理カウンセラー

2022年度は31期・41期

2022年度は、31期と41期に企画を担当いただき、2回ほどの開催を予定しています。準備ができ次第、同窓会ホームページ及び同窓会名簿EACONの登録メールアドレスに、ご案内させていただきます。お楽しみに！

今後も、オンラインで開催されたフォーラムの中で公開可能なものについては、会員の皆様が閲覧できるように整備をしていきます。

なお、第1回～第14回までのすべてのOBフォーラムでの講師・講演タイトルは当時の開催案内チラシとともに同窓会HPに掲載しております。

同窓会事業部

2022年度 歴史文学散歩 開催告知



2022年度も下記の①～④の4回の散歩を計画いたしました。4回目の「小石川後楽園から～」は、コロナ禍で実施できなかった20年度の再挑戦です。会員の皆様や関係者の方々の積極的なご参加をお待ちしております。参加を希望される方は同窓会事務局までご連絡ください

① 薔薇の花菜ガーデン散策

今年度最初の歴史散歩は気楽なハイキング感覚で、平塚の花菜ガーデンを散策します。ちょうどこの時期はバラやクレマチスが見ごろで、大変楽しめます。65歳以上割引入場料となります。

日程:2022年5月12日(木)

集合:JR平塚駅 北口 10時

昼食:お弁当or園内食堂／解散:14時半頃

行程:平塚駅～花菜ガーデン～平塚駅



② 藤沢村岡地区の史跡を歩く

村岡地区は藤沢市の南東部に位置し、西側は藤沢駅に近く、東側は鎌倉市に接しています。村岡に人が住み始めたのはかなり古く、川名の貝塚や御幣山の竪穴住居遺跡から、6000年ほど前からと言われています。地区内には平安時代、平良文が築いたといわれる村岡城址、中世に北条氏が建てた二伝寺・天獄院など多くの史跡が点在しています。

日程:2022年9月27日(火)

集合:JR藤沢駅 南口 10時

昼食:お弁当／解散:15時頃／距離:約6km

行程:藤沢駅南口～川名御霊神社～神光寺～横穴墓～弥勒寺～跨線橋～宮前御霊神社(昼食)～兜松～空と海のトンネル～村岡城址～石塔群～高谷神宮(解散)～バス停(天獄院入口)～藤沢駅

③ 鎌倉五山ほかの紅葉と古刹を訪ねる

今年のNHK大河ドラマは「鎌倉殿の十三人」と題して、頼朝挙兵前からの時代を13人の合議制メンバーを中心に話が進んでいくようです。久しぶりに鎌倉が注目される今年、鎌倉の史跡を訪ねて、いにしへの時代に思いを馳せたいと思います。秋の紅葉を楽しみながらゆったりとした一日を過ごしたいと思っています。

日程:2022年11月24日(木)

集合:JR北鎌倉駅 10時

昼食:お弁当or外食／解散:14時半頃／距離:約6km

行程:北鎌倉駅～円覚寺～浄智寺～建長寺～岩船地藏堂～寿福寺～鶴岡八幡宮～大学前バス停～浄妙寺～報国寺～旧華頂宮邸～浄妙寺バス停(解散)

④ 小石川後楽園から伝通院・礪川公園を歩く

このコースは2020年度最後に実施予定のコースで、コロナの為に中止になったものの再挑戦です。水戸黄門様のお庭で、池を中心に川、山、田園の風景が組み合わせられ、何回訪れても飽きさせない庭園です。あまり観賞時間を取ると予定時間をオーバーしてしまいそうです。伝通院から春日局像へと回ると、徳川ゆかりの散歩コースのようになりますが、シビックセンターからの景色が良いので、是非上がってみたいところです。

日程:2023年3月28日(火)

集合:JR水道橋駅 西口 10時

昼食:お弁当／解散:15時頃／距離:5.5km

行程:JR水道橋駅(西口・飯田橋より)～野球博物館～小石川後楽園～牛天神伝～伝通院～こんにやく閻魔～礪川公園～文京シビックセンター～後楽園駅

三春勝正(6期)



会長の“ちょっと、ひとりごと！”

コロナ禍での冬の北京オリンピック・パラリンピックが無事終了しました。平和の祭典が立て続けに行われ、夏も冬も、個人的にずっと応援している選手がいて、ハラハラ・ドキドキ、楽しませてもらいました。大きな感動に感謝！

そんなときに“戦争”です。国や政治がいくら理屈を捏ねても、何の罪もない一般人が攻撃され命を落とすことなど、ありえないことですし、あってはならないことです。3月1日の卒業式で、望月校長先生が“平和”という言葉を何度も重ねられていました。改めて平和の尊さ、あたりまえではない平和を守ることの大切さを心に刻んだ式でした。

新会員の70期生には、卒業式後の“祝賀会”で、卒業のお祝いと、入会の歓迎(とお礼)を伝えました。70期はコロナ禍のため、中心学年での栄光祭、体育祭が中止となり、修学旅行も予定通り出来ず、日々の学園生活も節目の大切なイベントも、その多くを経験出来ませんでした。しかし、彼らの若い力は、柔軟で逞しい。コロナ禍にも関わらず、昨年と異なり大講堂で飲食なしの“祝賀会”を行ったのも、70期生のアイディアだと思います。来賓は“祝賀会”があることを知らず、昨年と段取りが違うため、私や後援会理事長は、挨拶をするのかしないのか、タイミングも分からず顔を見合わせあつた。なかなか楽しいハプニング、サプライズでした。

式の前のミサで赤松神父様が、学園で学んだ全ての卒業生に“普遍的な価値観”が培われているとおっしゃっていましたが、1万2千人会員の“普遍的な価値観”とは？“何となく”程度の答えしか見つかりませんが、その“価値観”があることは間違いなく、同窓会活動に長く携わっていると強く感じ、確信が持てます。

たとえば“栄光ヒミツキチ”でウェブマガジンを自主運営する66期の西村さん、武さんとは、色々なやりとりするのですが、世代は違えど決して遠い距離感ではなく、安心、信頼できるのです。彼らが大学時代にスタートした“栄光ヒミツキチ”とは？短い言葉では伝え切れませんが、もったいない。せつかくの若い世代の素晴らしいアイディア、活動なので、次号ALUMNIでフォーカスする予定です。ご期待ください！

山田宏幸(30期)

オンラインマガジン「栄光ヒミツキチ」開設

66期の西村です。栄光ヒミツキチの活動内容を軽くご紹介いたします。「栄光ヒミツキチ」は現在大きく2種類の活動を行なう栄光生限定のコミュニティです。(栄光ヒミツキチでの「栄光生」とは、栄光学園在校生、卒業生、教職員経験者を指します)

①栄光生による栄光生のためのメディア活動

栄光生の手で栄光生が欲する情報を収集し、より伝わる形・伝わる媒体で発信します。メインはオンラインの記事や動画を配信するウェブマガジン「栄光ヒミツキチ通信」です。「栄光生を縦にも横にも繋げまくる」をモットーに、栄光生の経験や思いを気軽に発信し、栄光生が知らない世界を手軽に知ることができる媒体を目指します。

②栄光生がつながるためのイベント活動

栄光生が縦にも横にもつながるためのイベントを運営します。その様子を上記のメディア活動で発信し、栄光生間の活発なコミュニケーションを促します。



◀参加方法、詳細は左のQRコードよりご覧ください。

西村勇人(66期)

70期生が卒業 172名が新会員に

2022年3月1日、70期生の卒業式が行われ、同窓会に新たに172名が加わりました。祝賀会では同窓会を代表して山田会長より祝辞が述べられ、卒業生に「同窓会入会案内」と「EACON入門(操作手順説明並びにID、パスワード)」を配布するとともに記念品としてウツのシャープペンを贈呈しました。

未来EiKO募金

EIKO HIGH FOREVER FUND

【未来EiKO募金】ご協力をお願い

栄光学園は、創立100周年にむかって、今後も時代のリーダーを輩出し続けることができるよう、[未来EiKO募金]を設立しました。

母校のさらなる発展のため、未来のため、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

詳細は右QRコードよりご覧ください。▶



● 訃報 (2021年10月1日以降判明分)

先生

三浦 功先生	(倫理)	2021年10月11日
斉藤 裕之先生	(23期・体育)	2021年11月10日
D. コリンズ先生	(英語)	2021年12月23日

卒業生

川島 清彦氏	(3期)	2021年 2月 6日
西 五郎氏	(6期)	2021年 5月11日
田代 菊雄氏	(7期)	2021年 5月12日
川西 昭氏	(16期)	2021年 7月18日
田中 金次郎氏	(6期)	2021年 8月 1日
高嶋 邦安氏	(4期)	2021年 9月 4日
升本 喜郎氏	(29期)	2021年 9月12日
栗原 正喜氏	(6期)	2021年 9月17日
塚田 孝氏	(5期)	2021年 9月21日
小野 和彦氏	(11期)	2021年10月 9日
大和 英明氏	(5期)	2021年10月26日
高橋 由紀雄氏	(3期)	2021年10月31日
浜谷 雅也氏	(17期)	2021年11月10日
中村 厚氏	(2期)	2021年11月14日
林 良信氏	(12期)	2021年12月27日
加藤 圭一氏	(8期)	2022年 1月 4日
五十嵐 勇二氏	(9期)	2022年 1月14日
小山 嘉昭氏	(9期)	2022年 1月15日
黒沢 正昭氏	(10期)	2022年 1月20日
伊藤 碩氏	(4期)	2022年 2月12日
小澤 壮六氏	(10期)	2022年 2月13日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

栄光祭 5/14(土)・15(日)開催予定

今年度の栄光祭は在校生を中心に来場者を限定した上で、対面開催される予定です。ただし本年度も感染症対策のため、OBの栄光祭訪問は難しい状況です。また、追悼ミサについても開催しない予定です。

同窓会定期総会 5/21(土)開催予定

2022年度の同窓会定期総会は5/21にオンラインとリアルで同時開催する予定です。各期委員及び支部委員の皆様のご出席をお願いいたします。詳細は別途同窓会事務局よりご連絡いたします。(当日はフォス初代校長特別展開催予定)

次号(第98号)

2022年10月発行予定。

投稿歓迎

同期会、支部会、個人の体験記など投稿歓迎。1,200文字程度(+画像)。同窓会事務局宛にメール(または封書)でお送りください。

同期会開催のサポート

同期の連絡先を知りたい方は、同窓会事務局がお手伝い致します。尚卒業後10、25、50年目開催の場合は最大10万円の補助金をサポートいたします(※条件あり)。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

登録情報の変更

住所変更など登録情報に変更のある方は、EACONのサイト上でご自身で変更していただくか、同窓会事務局までご連絡ください。

会費納入

①口座振替と②お振込の2通りの方法があります。詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

編集後記

同窓会誌の編集を担当することになり、年に2回、物理的にお届けできる同窓会誌を、どうやったら封を開けてもらい、手に取ってもらい、読んでもらい、望むらくは読んでよかったと思ってもらえるかを意識してまいりました。結果として、今回お届けしました The EIKO ALUMNI は、これまでとは、随分と見た目が変化することになりました。

ここに至るまでには、読者の皆様のご想像よりもちょっと多めの、執行部の皆さんから注文・要望・叱咤・激励がありました。その思いを受け止めつつ、同じく広報担当の川村君(37期)との密なやり取りを経て、ここに流れ着いています。次号がどこにどう漂流していくのかは、皆様のご意見次第かもしれません。下のQRコードのアンケートから皆様のお声をお寄せください。この同窓会誌が届きます時には、世の中の決して明るくないニュースにも、春の兆しが感じられることを祈ります。

村井基彦(37期)



←アンケートフォーム。
今号へのご意見ご感想お待ちしております。

全てのお問い合わせ先

栄光学園同窓会事務局

〒247-0071神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1

Tel/Fax: 0467-44-8875

e-mail: admin@eikoalumni.org

EACON 就活・ビジネス・同窓会・趣味などに をもっと活用しよう!

[イーコン：名簿&コミュニティーサイト]



EACONって何?

同窓会会員限定のSNSです。

EACON(イーコン:Eiko Alumni COmmunication Network)は、冊子名簿の代替として、また卒業生同士のコミュニケーションをはかる目的で、2014年に作られました。

【名簿として】 会員情報(職業・連絡先・部活など)の閲覧・検索など

【コミュニケーションツールとして】 会員同士の交流・連絡など



何に使えるの?

就活・ビジネス・同窓会・趣味などで活用できます。

【就活】 希望業界に在籍する先輩にOB訪問したい。 【ビジネス】 栄光OBなら安心して相談できそう。

【同窓会】 長年ご無沙汰している同期と連絡を取りたい。 【趣味】 同じ趣味の仲間を見つきたい。

どうやって使うの?

まずはアクセス! ▶ <https://eacon.alumnet.jp>

※ログインID/仮パスワードをご不明の方は同窓会事務局へご連絡ください。

①ご自身の情報を更新: 最新情報への更新をお願いします。

公開範囲設定可能、メアドはなるべく公開で。仮パスワードの変更をおすすめします。

②使ってみましょう!:

【会員検索】 名前・期・会社・職種・大学・部活など、様々な属性から会員を検索できます。

【グループ検索と参加申請】

期・部活・地域・趣味など、関わりのあるグループや興味のあるグループに参加して交流を深めましょう。



The EIKO ALUMNI Vol.97

[発行日] 2022年4月15日

[発行人] 栄光学園同窓会 山田宏幸 (30期)

[編集・デザイン] 広報部 村井基彦 (37期) 川村貞知 (37期)

[web] 事業部 大須賀喜彦 (39期)

[印刷] 株式会社さんこうどう

[発行] 栄光学園同窓会

〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄4-1-1 Tel&Fax 0467-44-8875

e-mail: admin@eikoalumni.org



栄光学園同窓会 HP 

<https://www.eikoalumni.org/>



NEW! 同窓会からの最新情報をお届けします。

栄光学園同窓会 Facebookページ 

<https://www.facebook.com/eikoalumni/>



EACON [名簿&コミュニティーサイト]

<https://eacon.alumnet.jp/>